

2024年12月期 第1四半期決算説明資料

2024年5月13日

株式会社ツバキ・ナカシマ

(証券コード6464 東証プライム市場)



2024年12月期第1四半期決算開示のポイント

リニア事業のボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴う開示の変更点は以下のとおり

- 2024年12月期第1四半期の業績は、非継続事業を除いた継続事業のみの数字を中心に開示
- セグメントは、「プレシジョン・コンポーネントビジネス」と「その他」に分類

FY2024 第1四半期業績ハイライト

売上

- 為替の影響等により、売上収益は前年同期を上回る200億円も、自動車産業における一部メーカーの生産停止影響等もあり、為替影響を除くと前年同期比▲3.9%
- 成長戦略の売上収益は、前年同期38億円を上回る41億円

利益

- コスト改善の効果が見られた一方で、売上収益の实质減を受け、営業利益は、為替影響を除くと前年同期比▲10.0%

配当

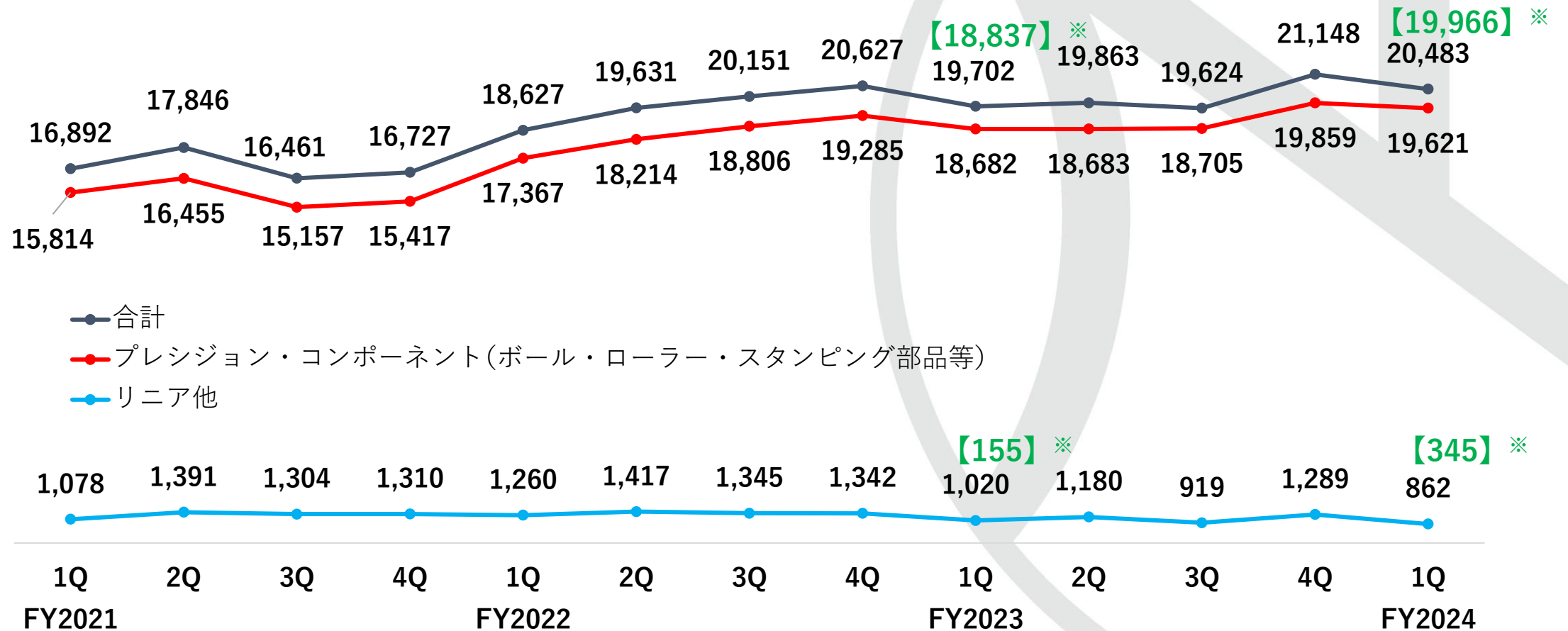
- 年間配当額は、ガイダンス通り35円/株の予定。中間配当額は現時点で未定

四半期 連結売上収益推移

プレジジョン・コンポーネント売上収益：前年同期比6.0%増（緑字）

その他売上収益：前年同期比122.6%増（緑字）

(百万円)



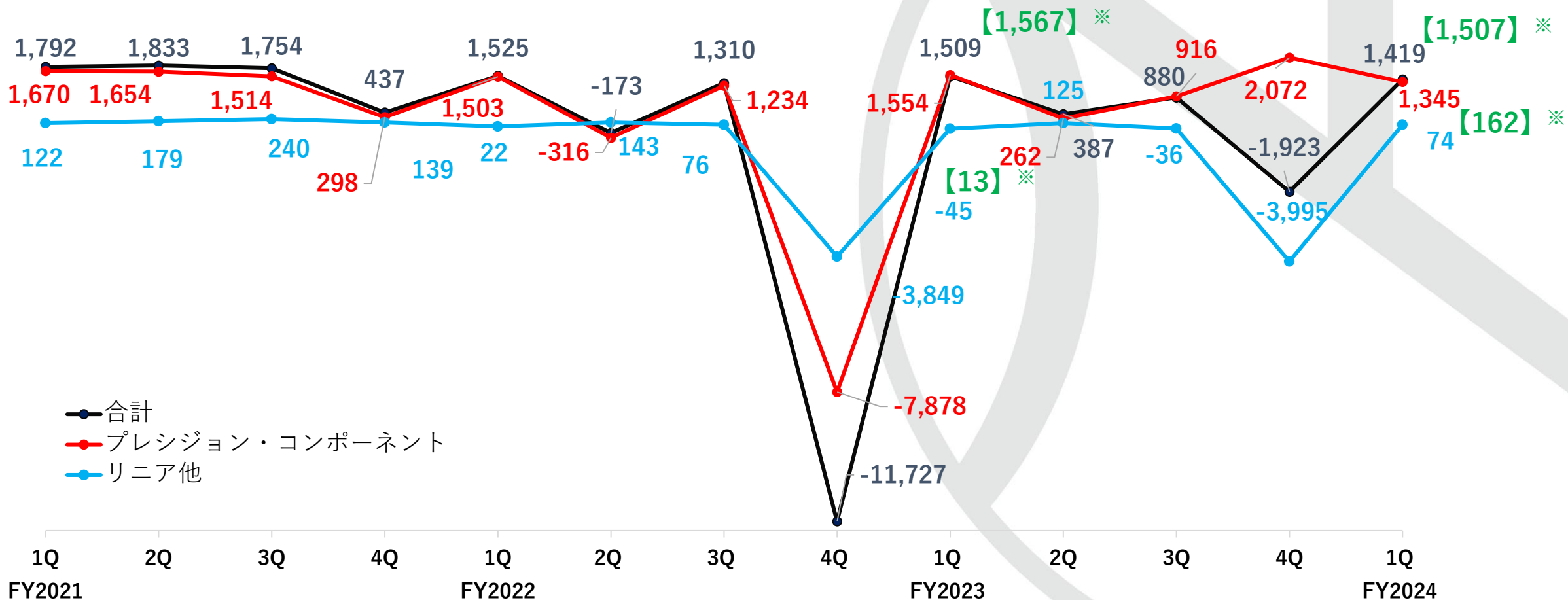
※ “継続事業のみ”の数値（緑字）
上記以外は、継続事業・非継続事業合算

四半期 連結営業利益推移

プレジジョン・コンポーネント営業利益：前年同期比3.8%減（緑字）

その他営業利益：前年同期比12.5倍（緑字）

(百万円)



※ “継続事業のみ“の数値（緑字）
上記以外は、継続事業・非継続事業合算



FY2024 第1四半期連結業績（前年同期比）

為替影響を除いた売上収益は前年同期比3.9%減、営業利益は同10.0%減

(百万円)

	FY2023	FY2023	FY2024			
	1 Q	1 Q	1 Q			
	実績 ^{※1}	実績 ^{※2}	実績 ^{※2}	為替影響	増減額 ^{※3}	増減比 ^{※3}
売上収益	19,702	18,837	19,966	1,871	▲ 742	▲ 3.9%
営業利益	1,509	1,567	1,507	97	▲ 157	▲ 10.0%
対売上(%)	7.7%	8.3%	7.5%	—	—	—
EBITDA	2,268	2,270	2,319	97	▲ 48	▲ 2.1%
税引前利益	1,229	1,286	1,098	89	▲ 277	▲ 21.5%
当期利益	655	655	906	55	196	29.9%

※1 “非継続事業”を含む

※2 “継続事業のみ”の数値（当期利益は“非継続事業”を含む）

※3 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

FY2024 第1四半期セグメント・地域別売上（前年同期比）

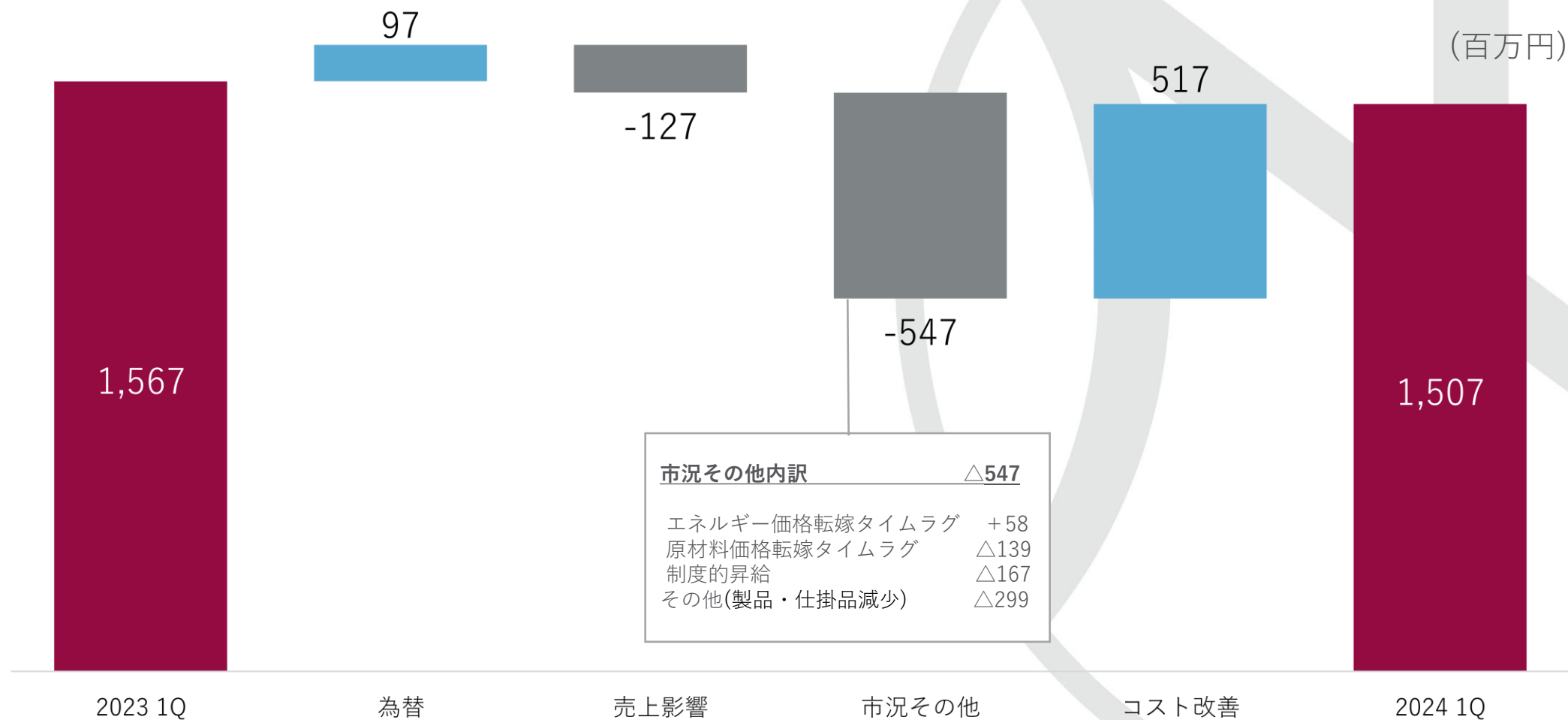
（百万円）

	FY2023	FY2023	FY2024			
	1 Q	1 Q	1 Q			
	実績 ^{※1}	実績 ^{※2}	実績 ^{※2}	為替影響	増減額 ^{※3}	増減比 ^{※3}
グループ連結	19,702	18,837	19,966	1,871	▲ 742	▲ 3.9%
プレシジョン・コンポーネント ^{※4}	18,682	18,682	19,621	1,871	▲ 932	▲ 5.0%
日本	3,511	3,511	3,064	0	▲ 447	▲ 12.7%
北米	3,876	3,876	4,041	454	▲ 289	▲ 7.5%
欧州	6,823	6,823	7,256	1,018	▲ 585	▲ 8.6%
中国	3,678	3,678	3,811	268	▲ 135	▲ 3.7%
アジア（除中国）	794	794	1,449	131	524	66.0%
その他	1,020	155	345	0	190	122.6%

- ※1 “非継続事業”を含む
- ※2 “継続事業のみ”の数値
- ※3 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く
- ※4 地域間の連結消去後

FY2024 第1四半期 営業利益増減要因

売上高の減少及び市況その他の影響により、営業利益は前年同期比3.8%減の1,507百万円



BS / CFにおける業績

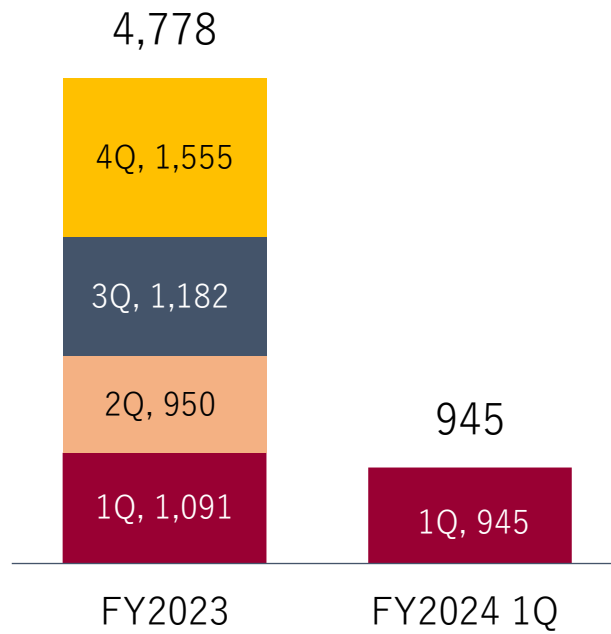
棚卸資産回転月数(月)

販売減による在庫増



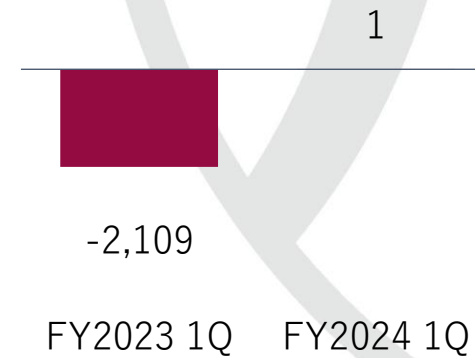
設備投資額(百万円)

計画通り推進



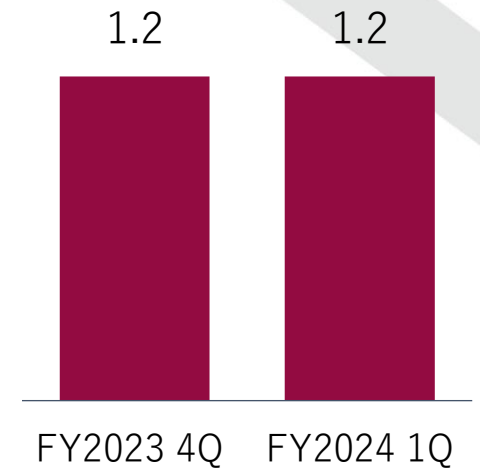
フリーキャッシュフロー
(百万円)

- ・ 運転資本他改善 (+13億円)
- ・ 割増退職金支払減(+7億円)
(2023年ローラー vs 2024年スタンピング)
- ・ CAPEX減 (+1億円)



ネットDEレシオ
(%)

前四半期比変わらず



成長戦略の進捗（FY2024 第1四半期）

前年同期比では、セラミック、医療デバイス、アジア地域での拡販いずれもプラス

(百万円)

セラミックボール

医療デバイス

アジア地域での拡販

(除く中国、セラミック)

YoY +85
+3.5%

QoQ ▲55
▲2.2%

YoY +84
+19.5%

QoQ ▲78
▲13.2%

YoY +66
+6.7%

QoQ ▲12
▲1.1%

9,866

1,657

4,098

4Q, 2,555

4Q, 593

4Q, 1,066

3Q, 2,355

3Q, 397

3Q, 1,041

2Q, 2,541

2Q, 236

2Q, 1,003

1Q, 2,415

1Q, 431

515

1Q, 988

2,500

1Q, 2,500

1Q, 515

1,054

1Q, 1,054

FY2023

FY2024

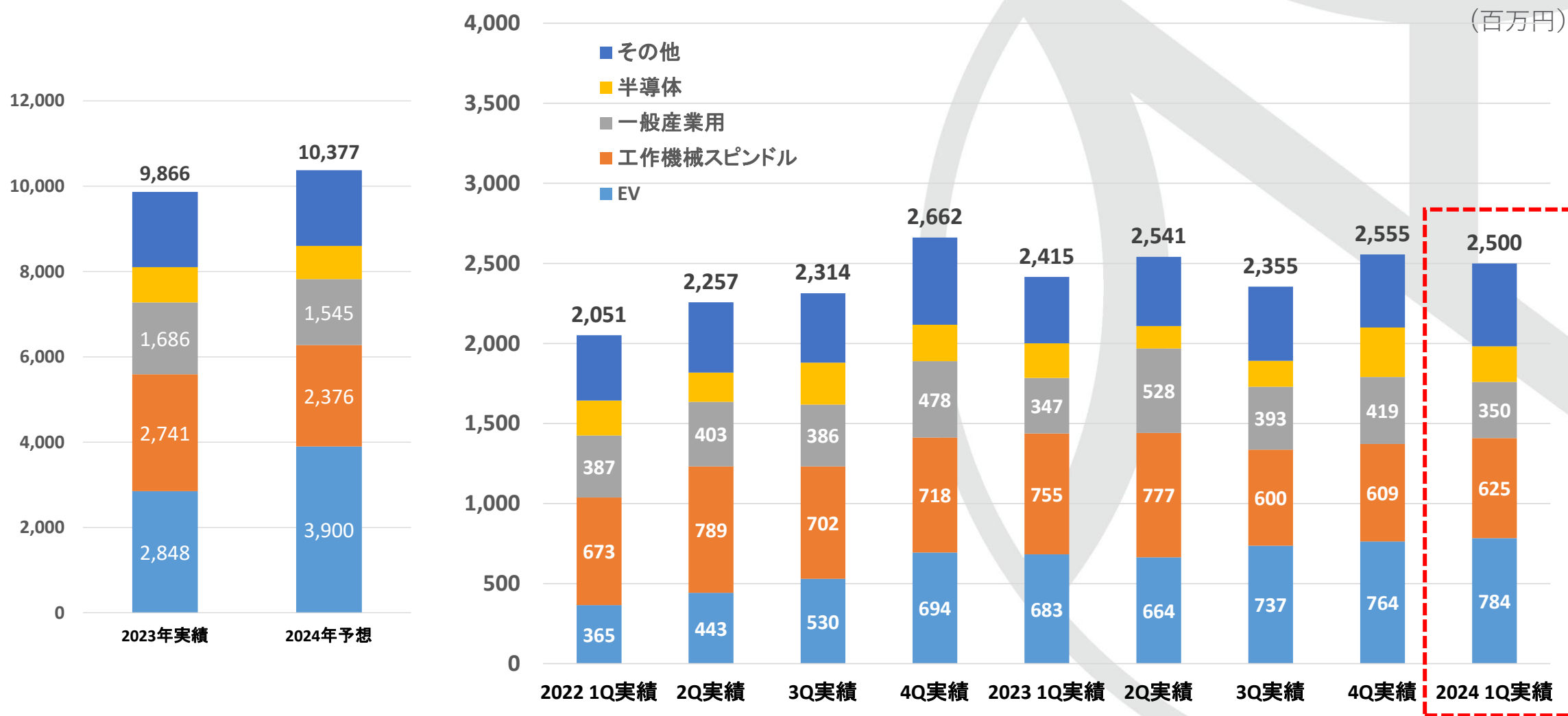
FY2023

FY2024

FY2023

FY2024

セラミックボールの用途別売上高推移及び予想



サステナビリティへの取り組み

持続可能な開発戦略

- ✓ エネルギー消費の削減
- ✓ 太陽光発電システム
- ✓ 再生可能エネルギー証書を活用したグリーン・エネルギーの購入
- ✓ 挑戦：高稼働率によるTNプラントの全般的な効率の向上
- ✓ TNプラントの電化

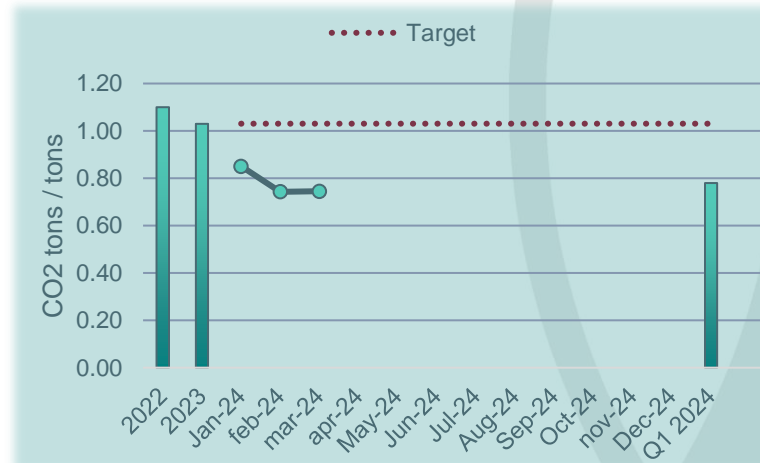


- 2030年までに2022年比▲42%
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す

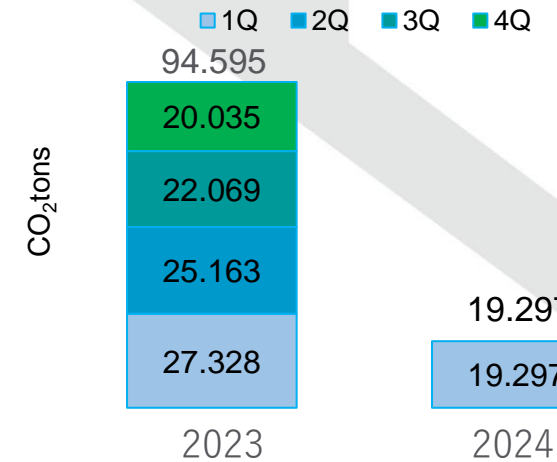
カーボンフットプリント

CO ₂ tons / tons	2023	Q1 24	% 24 vs 23
JAPAN	1,10	0,82	-34%
EUROPE	1,04	0,82	-26%
CERAMIC	19,3	12,5	-55%
CHINA	0,99	0,64	-56%
AMERICAS	0,81	0,89	+9%
MEDICAL	1,52	1,83	+17%
TSUBAKI NAKASHIMA	1,03	0,78	-32%

月次動向



CO₂総排出量



当社は**CDP気候変動** (2023年: B-スコア)に参加し、その実績を毎年モニタリングしており、**SBTi**で目標を検証しています。このようにして、当社はサステナビリティ関連のコミュニケーションにおける透明性と信頼性を実証します。

* このページの各数値は「市場ベースの手法」に基づいています。

2024年12月期業績見通し

前回発表予想は非継続事業を含む。今回の予想は非継続事業を除外したのみで、継続事業のみの見通しに変更はありません。

(百万円)

	前回発表予想		今回予想			
	見通し	売上比	見通し	売上比	増減額	増減比
売上収益	80,800	100.0%	77,300	100.0%	▲ 3,500	▲ 4.3%
営業利益	7,000	8.7%	6,860	8.9%	▲ 140	▲ 2.0%
税引前利益	5,785	7.2%	5,650	7.3%	▲ 135	▲ 2.3%
当期利益	3,960	4.9%	3,960	5.1%	0	0.0%
基本的1株当たり当期利益(円)	99.68	—	99.68	—	0.00	0.0%
一株当たり配当 (円)	35	—	35	—	0	0.0%

※ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い、売上収益、営業利益、税引前利益の予想値を、非継続事業を除いた継続事業の予想へ修正しております

想定為替レートは、1ドル139円、1ユーロ150円、1人民元19.70円
 (実績：2023年期中平均レート 1ドル140.56円、1ユーロ152.00円、1人民元19.82円)

免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。